

令和6年度長崎北高等学校 学校評価アンケートの特徴

※数値3.3以上を「高い」、2.8以下を「低い」として、アンケートの結果をまとめています。

1 アンケートの特徴（下段()は前年度)

	項目数	評価が高い (3.3以上)	評価が低い (2.8以下)
生徒	31 (31)	9 (7)	0 (1)
保護者	26 (26)	4 (5)	3 (0)
職員	34 (34)	11 (13)	1 (0)

2 評価が高い項目（3.3以上）

	項目	数値	前年比
生徒	北高は、朝の読書にしっかり取り組んでいる。	3.3	0
	私は、充実した高校生活を送っている。	3.3	+0.1
	私は、学校行事に積極的に参加している。	3.4	+0.1
	私は、授業を意欲的に受けている。	3.3	+0.1
	私は、容儀や服装に常に注意を払っている。	3.3	0
	私は、挨拶がきちんとできている。	3.4	+0.1
	私は、掃除にきちんと取り組んでいる。	3.4	+0.1
	私は、常に周囲や相手のことを思いやって行動している。	3.3	0
	私は、学校生活を送る上で安全・安心な環境である。	3.3	0
保護者	子どもは、充実した高校生活を送っている。	3.3	0
	子どもは、学校行事に積極的に参加している。	3.4	0
	子どもは、適切な時間に帰宅している。	3.3	0
	子どもは、挨拶がきちんとできている。	3.3	0
職員	学校経営の方針（目指す学校像・育成したい生徒像）が明確である。	3.3	-0.1
	他に誇れる校風や特色を持っている。	3.3	0
	進路選択の指導を適切に行っている。	3.3	0
	学校行事や生徒会活動・部活動への積極的な参加を後押ししている。	3.5	+0.1
	悩みや不安を持っている生徒に対して適切な対応を行っている。	3.4	0
	いじめの早期発見や防止に向けて、組織的な対応を行っている。	3.4	+0.1
	生徒の疾病や事故に迅速・適切に対応している。	3.6	+0.1
	生徒がいつでも学習できるような教育環境を整えている。	3.3	-0.2
	保護者からの相談に対して、丁寧に対応している。	3.4	-0.1
	HPや「北高News」を通じて、適切に広報活動を行っている。	3.3	0
	P T A活動が保護者の理解と協力を得ており、適切である。	3.3	0

3 評価が低い項目（2.8以下）

	項目	数値	前年比
保護者	北高は、生徒一人ひとりの能力に応じた適切な学習指導を行っている。	2.8	-0.1
	北高は、職業について、生徒に具体的に考えさせる指導をしている。	2.8	-0.1
	北高は、生徒個々の進路目標に応じてきめ細かな進路指導をしている。	2.8	-0.1
職員	家庭学習にしっかり取り組ませている。	2.7	-0.3

4 アンケートの分析と今後の対応

(1) 全体概要について

- 生徒・保護者・教職員アンケートについて、全体としては評価が高い項目が多かった。ただし、前年度と比較してみると、生徒の評価で前年度を下回る項目は皆無であったが、保護者・教職員の評価は前年度を下回る項目が多かった。
- 今年度は県教育委員会からイノベーションハイスクール指定校として認定を受けた初年度であり、生徒の主体性と職員の働き方改革をかけあわせ、魅力的な学校づくりに向けて取り組んでいるところである。

(2) 評価が高い項目について

○学校行事

本校は昨年創立60周年を迎え、今年度は記念行事を行った。特に体育祭については、熱中症への対応もあり、かきどまり陸上競技場での夕方開催であった。種目についても企画段階から生徒実行委員会が中心となって準備を進めた。そのような大きなチャレンジを生徒も保護者も教職員も前向きにとらえ成功させたこともあり、**学校行事への積極的な参加**について、評価が高い。また「**充実した学校生活を送っている**」ととらえている生徒・保護者も多い。

3月に実施する文化祭も、イノベーションハイスクールの一環として生徒主体の行事となるよう準備しているところである。

○生活面

考査のたびに生活委員と有志で行うあいさつ運動や掃除コンクールの実施などもあり、生徒や保護者の**挨拶や掃除**に関する評価は高い。

(3) 評価が低い項目について

○学習指導

「**生徒一人ひとりの能力に応じた適切な学習指導**」について、保護者の評価が前年度から0.1ポイント下がり2.8と厳しいものとなった。個別最適な学びを意識した学習指導や、指導と評価の一体化を目指して観点別評価の研究を進め、適切に指導していきたい。また、今年度から1年生にはClassiを導入し、模擬試験の結果を反映させて、それぞれの段階に応じた課題に取り組むことができるような環境を整えた。

「**家庭学習にしっかり取り組ませている**」について、職員の評価が前年度から0.3ポイント下がり、2.7と厳しいものとなった。与えられた課題をこなす学習から主体的に個別最適な学習へ変化しつつある中で、生徒に適切な環境を整え、適切な助言・指導ができるよう研究を進めていきたい。

○進路指導・キャリア教育

「**生徒個々の進路目標に応じてきめ細かな進路指導**」「**職業について、生徒に具体的に考えさせる指導**」について、保護者の評価が前年度から0.1ポイント下がり2.8と厳しいものとなった。生徒が自分の進路や人生について具体的に考え深められるよう「**探究的な学習の時間**」の計画を改善しているところである。